

学校目標・経営方針	自主自律の精神と創造性を尊び、幅広い知性と豊かな人間性の涵養を図るとともに、常に自己と社会をよく見つけ、高い理想のもと、広く社会で活躍する人材を育成する。
-----------	---

本年度の重点目標	1 知識を深く掘り下げ、本質を粘り強く追究しようとする探究心の育成
	2 自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組の支援
	3 部活動や学校行事などによる自己管理能力や豊かな人間性の育成
	4 PTA・同窓会・地域などとの連携による特色ある教育活動の推進

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			年度末評価(2月17日現在)
番号	評価項目	具体的方策	自己評価結果
1	知識を深く掘り下げ、本質を粘り強く追究しようとする探究心の育成	学びの基礎診断などを活用して生徒個々の学習状況を把握し、生徒の学力に応じた適切な指導を行う。	学習環境に関する生徒アンケート 学校評価アンケート 生徒授業アンケート
		国際パカロシアの視点を生かして、総合的な探究の時間の充実を図り、全教員による支援体制のもと、課題論文の作成を進める。	教員の自己評価 教員相互の授業評価シート 生徒授業アンケート
		相互授業参観や研究授業、研修会を通じ、学び方のスキルを育成する視点からの指導改善やICTの効果的活用を推進する。	教員の自己評価 教員相互の授業評価シート 生徒授業アンケート
2	自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組の支援	高大接続改革の状況など有益な進路情報の提供に努めるとともに、進路ガイダンスや講演会を通じて、主体的な進路選択の支援に努める。	生活実態調査 学習環境に関する生徒アンケート 学校評価アンケート
		適切な課題や課外の在り方を検討し、効果的な運用に努め、生徒が自主的・主体的に学ぼうとする意欲の醸成を図る。	生活実態調査 学習環境に関する生徒アンケート 学校評価アンケート
		業務改善を図り、進路相談や個別指導など、生徒一人一人に向き合う指導を推進する。	学校評価アンケート
3	部活動や学校行事などによる自己管理能力や豊かな人間性の育成	計画的かつ効果的な部活動を推進し、学習との両立を支援する。また、学校行事においては、各行事の目的を明確にし、教育効果が高まるよう指導の充実を図る。	生活実態調査 学習環境に関する生徒アンケート 学校評価アンケート
		今来手帳を活用し、時間と課題を管理するとともに、計画的に物事を進めることができる姿勢の育成に努める。	学校評価アンケート
		生徒支援委員会を通じて、教員相互の協力態勢を築きながら、生徒・保護者が安心して相談できる支援体制の充実を図る。	学校評価アンケート
4	PTA・同窓会・地域などとの連携による特色ある教育活動の推進	開かれた学校づくりをさらに進めるため、保護者への授業公開や、学園祭の地域住民への公開、及び異校種交流を促進する。	学校評価アンケート 参加者数 参加アンケート 志願者数
		情報発信ツールとして学校ホームページをさらに充実させ、ニーズに応える有益な情報の発信に努める。	学校評価アンケート HPへのアクセス数 志願者数
		地域の課題や防災について考える機会を設けるとともに、国際理解に資する教育活動を推進し、グローバルな視点から教育の特色化を図る。	学校評価アンケート 参加者数 参加アンケート

学校関係者評価	
実施日(令和2年3月9日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> 業者テストなどの外部評価や、各種アンケートを通して生徒の学力や学びへの取り組み状況について把握する体制ができており、PDCAを通して自校の課題が把握されている。 65分授業が有効に機能し、探究活動が積極的に取り入れられていることが窺え、そこから「学習が深まる」といった評価につながっている。 学習体制がハード・ソフト両面で充実している様子で、その成果も結果として表れている。引き続き、生徒の期待に応えるべく厚い指導をお願いしたい。 深い学びの実現に向けて課題論文だけではなく、各教科でも国際パカロシアの主旨を活かした学習を更に推進されたい。 スマホなどで簡単に調べることのできる時代だからこそ、苦労して基本を身につけて、その上で自分らしさが発揮できるように突き詰めていく経験をさせて欲しい。 ICT機器の導入に限らず、学校の様々な場面で生徒が今までにない新しいことに挑戦しようとする気持ちを醸成することが大切であると思われる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 大学に合格する事がゴールとなっているように感じられる面があるが、社会とどう関わっていくかを考え、先まで見据えた大学選びができるよう指導してほしい。 「生徒の主体性を引き出す課題の在り方」は難しい問題であるが、教員間でよく議論し、生徒が自ら学習計画を立てられるような方策を見つけてほしい。 生徒が、将来の夢と現在の学びの繋りに気づき、自分の学びへの自覚と主体性が「高まるよう更に指導に力を入れられたい。」 国際パカロシアの導入は全国的に注目されている。先生方は大変だと思うが、ぜひ取り組みが実を結ぶよう頑張ってください。 国際パカロシア導入により、ますます多忙になっていくので、業務改善の見直しは急務である。 AIやICTを使った業務改善への取り組みが遅れているように見受けられる。現在、業務改善などの課題解決をサポートしてくれる企業があるので、これらを活用する取り組みにチャレンジしてほしい。
3	<ul style="list-style-type: none"> アンケート等の結果より、部活動や学校行事にも生徒達が熱心に取り組む姿が見られる。共同で取り組む力など学力だけではなくコンピテンシー(能力・資質)が育っている様子が伺われる。 生徒の自己管理能力の伸長は、学力を更に伸ばすために必須のものである。学習と部活動の両立をめざしながら、自分の適性を見つけ、将来のキャリアについて考えるきっかけにもしてほしい。 勉強・部活・学校行事全てが人間育成の為にとても大切なので、何かをあきらめるのでなく、限られた時間をどう活用するか計画的に取り組んでいけるよう「今来手帳」をより有効活用してほしい。 教育相談については、教員の評価が高く、体制や内容が充実している様子が窺える。今後も悩める生徒に寄り添った丁寧な支援を期待する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各種広報誌、年次だより、保健室だより等を通して、生徒、保護者、地域に西高の情報が適切に発信され、開かれた教育活動が実践されている。 近年は、教職員、生徒と地域住民との連帯感が薄れがちに傾向にあるように感じている。 ボランティア活動や地域貢献活動は、国際パカロシアの理念とも相通じるものである。自分のことだけで満足するのではなく、より良い社会の建設のために、自ら課題を見つけ、主体的にリーダーシップを発揮できる生徒の育成をめざして、さらに教育活動を深めてほしい。 HPには様々な資料が掲載しており、先生方が熱心に生徒を指導していらっしゃる様子が伺われる。地域から信頼され、さらに愛される高校となるよう、さらなる情報発信と定期的な更新をお願いしたい。 多様性を学ぶという観点でも、学校外の方と関わっていくことは良いことであり、可能であれば、外国人と一緒にボランティア活動するなど、より多くのことを学ぶことができる教育を推進してほしい。